

(11)排水対策：排水対策の強化

村が考える住民の皆さまの幸せのかたち

「豪雨を想定した排水対策がなされている」

施策の目的

排水処理能力の向上を図りつつ、大雨等による浸水被害や道路冠水のない、農業排水と防災上の排水が考慮された村を目指します。

現状を踏まえた課題

- ・村内には海拔ゼロメートル地域が広がっており、水害に対する潜在的な危険性が高くなっています。
- ・村の東西端を、県の管理による日光川と筏川が流れていますが、河川の水害対策は協議会等を通じた要望や陳情が中心となっています。
- ・排水路は堆砂により機能低下することから、定期的な浚渫作業が必要となっています。
- ・有事を想定した排水機能のバックアップ体制が求められています。

▶取り組みの体系

【排水対策】 排水対策の強化	排水機能の維持・増強
	非常時におけるバックアップ体制の構築
	雨水排水施設の整備

主な取り組み

① 排水機能の維持・増強

日光川堤防や、その他水路の継続的な補修について国や県に継続的に要望するほか、排水機の継続的な更新や増強を県等に要望します。

さらに、工業地帯において排水機能が低下した排水路の補修に向けた検討を進めるとともに、排水路の浚渫および排水施設の補修、道路側溝清掃等を実施し、既存の排水機能を保全します。

② 非常時におけるバックアップ体制の構築

有事を想定した連携訓練を行います。

③ 雨水排水施設の整備

市街化区域の雨水排水施設について、計画的な整備に向けた検討を進めます。

計画指標	基準値 (令和3(2021)年度)	目標値 (令和9(2027)年度)
① 堤防および排水施設の強化に向けた国・県等への要望活動の継続 ・必要に応じて迅速に要望活動を実施します。	継続	継続
② 排水路の浚渫（市街化区域内） ・排水機能向上のため、堆積の状況を検証しながら随時実施します。	継続	継続
③ 土地改良区と有事を想定した排水訓練の実施 ・令和9（2027）年度までに訓練を実施し、以降、年1回実施します。	—	年1回
④ 市街化区域の側溝等改修延長 ・令和3（2021）年度の実績（56m）に加えて令和9（2027）年度までに累計300mを施工します。	56m	累計300m

住民・行政の協働に向けて

▶**行政**：日頃から排水機能の維持・増強に向けた取り組みを進めつつ、有事を想定した訓練に努めます。

▶**住民**：排水路にごみを捨てないようにするなど、ルールを守った暮らしに努めます。